

科目ナンバリング											
授業科目名 ＜英訳＞	外国文献研究（文・英）A-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Letters, English)A-E1					担当者所属 職名・氏名	文学研究科 教授 金澤 周作				
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	外国文献研究			使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	火2		配当学年	2回生以上	対象学生	文系向		
[授業の概要・目的]											
人文系の諸学問を学ぶ人のための英語文献講読											
英書を読みながら、人文学に特有の用語・概念・文体に接し、英語文献の読み方を学習する。 テキストとしては、Roger Scruton, Conservatism (Profile Books, 2017)を使用する。本書は、ヨーロッパ近世に誕生した「保守主義」という概念が、現代にいたるまでに、どのような現実と格闘しながら展開してきたかを手際よく概観した書物である。西洋思想史としても、西洋近代史としても、読むことができ、しかも非常に現代的な問題提起もしている書物である。現代を相対化する視点を養ってほしい。この授業では、本書を訳読する。 本授業の主たる目的は、人文系の英語文献の読み方に習熟することにある。											
[到達目標]											
ある程度の分量の英語を、早く、正確に読む。テキストを読み進むことによって、西洋世界を中心に発展してきた保守主義やその周辺の政治的な思潮・立場の特質やその変遷について、基本的な知識を身につける。基本的な人文学の方法を身につける。											
[授業計画と内容]											
人文学に関する英語の文献を読み、研究に必要な語彙や概念について基礎的な知識を身につける。											
授業は、訳読を中心に進める。毎回、履修者名簿からランダムに指名して訳してもらう。											
テキストは全体で150頁程度であるが、授業では、このうちの前半を、14回に分けて読み進む。また、たんに英語を日本語に置き換えてよしとするのではなく、内容を理解し、主体的に思考を深めていってほしいと考えているので、簡単なレポートを1回課す。 第1回 「保守主義」を考える 第2回～第6回 第1章 前史 を読む 第7回～第10回 第2章 哲学的保守主義の誕生 を読む 第11回～第14回 第3章 独仏における保守主義 を読む 第15回 期末試験 / 学習到達度の評価											
フィードバック方法は別途連絡します。											
----- 外国文献研究（文・英）A-E1(2)へ続く↓↓↓ -----											

外国文献研究（文・英）A-E1(2)

[履修要件]

本授業は、人文系の英語文献の基礎的な読解力を有する学生の履修を前提とするため、2回生以上を対象とする。

[成績評価の方法・観点]

授業中の訳読（30％）、レポート（30％）、および期末試験（40％）によって評価する。

[教科書]

Roger Scruton 『Conservatism』（Profile Books）ISBN:9781781257524（ペーパーバック版）

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

訳読が中心になるので、進度に応じてしっかり予習をすること。また、レポートは復習を兼ねているので、最後にまとめてやるのではなく、講義期間中に適切にこなしていくことを求める。

[その他（オフィスアワー等）]

とくに予備知識は必要としません。なお、授業の性質上、クラス定員を40名とする。これを超える履修希望者がある場合、次の順位で選考しますので、初回に必ず出席のこと。1．文学部歴史基礎文化学系 2．文学部のその他の系の学生 3．他学部生